

ダム・堰施設技術基準(案)改定のポイント

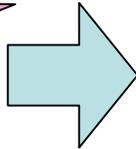
【1. 危機管理の重視】

- 設計の基本となる事項として、新たに「**危機管理**」の項目を新設。
- 想定外の事態により、ゲート設備が正常に操作できなくなるような危機が発生しても、壊滅的な被害の発生を防止できるよう、必要な機能を考慮し設計することを基準に明確化。**

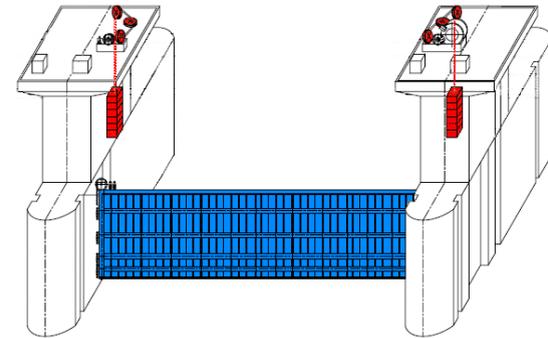
(基準改定の効果例)

- 閉めるべきゲートについては、自重により確実に閉操作ができる機能などを確保
- 開けるべきゲートについては、開閉荷重を小さくし、容易に開操作ができる機能などを確保

災害・事故
発生



自重により確実に閉操作ができる設備



カウンタウェイト式により扉体の開閉荷重を小さくし容易に開操作ができる設備

【2. 維持管理の重視】

- 点検・整備の各段階において、**適切かつ効率的・効果的な維持管理を実施することを基準に明確化。**

(基準改定の効果例)

- 長寿命化やコストの縮減
- 計画的な維持管理により、故障を防止

【3. 新技術導入の促進】

- 新材料についても適用可能性を検討のうえ、使用することができることを基準に明確化。**

(基準改定の効果例)

- 新材料の導入により、コスト縮減や現場条件に適応した構造の創意工夫